

令和7年度 年間指導計画・評価計画 技術・家庭科(技術分野) 第2学年 No123 東深沢中学校

月	単元・題材	目標・学習内容	評価規準		
			知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	生物育成の技術を生活に生かそう よりよい育成ができる ように工夫しよう	生物育成の意味とその目的、わたしたちの生活における役割を知る。  育成生物の特性が、生物育成技術と深くかかわっていることを知る。	○生物育成に関する技術にかかる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。	○目的や条件に応じて栽培又は飼育の計画を立てるとともに、育成する生物の観察を通して成長の変化をとらえ、適切に対応を工夫している。	○目的や条件に応じて、生物育成の手段を適切に選択し、活用できている。
5		わたしたちの生活に有効利用されている生物育成技術の流れを知る。	○よりよい社会を築くために生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。		
6	土づくり、肥料 たねまき、育苗と植えつけ(定植) 定植後の管理	作物の生育に適する条件を理解する。 栽培に適した土の条件やたい肥について理解し、目的や場所に応じた土づくり、施肥ができる。		○よりよい社会を築くために生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。	○生物の適切な管理作業ができる。
7	エネルギーとエネルギー変換	さまざまな機器を通じて、エネルギーとエネルギー変換を理解する。	○エネルギー変換に関する技術について関心をもっている。		
9	エネルギー資源の種類	エネルギー資源の種類とその利用法を理解する。		○使用目的や使用条件に即してエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。	○機器の保守点検と事故防止ができる。
10	電気機器への利用  電気機器の安全な利用	身の回りの電源の種類と特徴を知る。 電気エネルギーの変換のしくみを理解し、適切な利用方法が選択できる  電気機器の点検について知り、安全な利用について理解する。	○エネルギー変換に関する技術を適切に活用しようとしている。		○製作品の組立て・調整や点検ができる。
11	製作品の構想と設計	実習を通して、利用する技術が社会や環境に与える影響に気が向くようにはたらきかける。 エネルギー変換を利用した作品の構想をまとめて、製作品に必要な図を作成する。		○よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。	
12			○エネルギー変換に関する技術にかかる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。		
1 2 3	ネットワークと情報セキュリティ  情報モラルと知的財産  利用するときのモラル	ネットワークの危険性と安全対策の必要性を知る。  安全に情報を利用するためのしくみを知る。  情報を扱う際のルールやマナーなどのモラルの必要性を知る。  相手の立場に立った情報発信のモラルを知る。	デジタル情報を活用する際に、著作権等の権利を意識している。 ○情報に関する技術を適切に活用しようとしている。	目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 ○よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用している。	多様なメディアの複合、表現や発信ができる。